

Crossover Vol.4 アンケート取りまとめ

(収集枚数：103枚)

Q1 今回の会をどのようにして知りましたか。

友人・知人の誘い	60
そのほかのML・HP	6
新世代の会	5
クロスオーバー	32

Q2 会の感想を以下から選んで をつけてください。

非常に有意義であった・・・	64
それなりの意義はあった・・・	39

Q3 Q2 の理由を教えてください。また、改善すべき点や問題点があれば教えてください。

ディスカッションの内容について

良かった点として頂いた主なご意見

質の高い多様な参加者と議論する中で、新しい視点が開け有意義だった。(28名)

冒頭のプレゼンテーションのおかげで、議論がしやすかった。(6名)

テーブルのディスカッション・リーダーの司会が良かった。(7名)

改善すべき点として頂いた主なご意見・ご要望

第1セッションのテーマが抽象的(マクロ的)すぎる。より絞られた具体的な論点や方向性が示されれば、より中身の濃い議論ができるのでは。(12名)

第2セッションのテーマを事前に選べることであれば、より中身の濃い議論ができるのでは。(7名)

司会(若しくはディスカッションリーダー)からの一方的な情報提供になる傾向が見られた。(7名)

ディスカッションの最後にそれぞれのテーブルから議論の内容を発表しあう場を設けてほしかった。(2名)

複数のテーマを行き来できればよかった。(2名)

ディスカッションの形式について

良かった点として頂いた主なご意見

様々なテーマの中から自分たちが選択できるという形式は自主性と参加意識を高める意味でとても良かった。(19名)

1グループの人数がちょうど良かった。(21名)

白熱した熱気ある雰囲気良かった。(6名)

場所が良かった。(8名)

改善すべき点として頂いた主なご意見・ご要望

人数が多い。(19名)

会場が狭い。(13名)

時間が足りない。(5名)

Q4 政策市場について、本日のプレゼンテーション・議論を踏まえた意見を教えてください。

私は民・官も意識の改革であり、その力は教育にあると思っています。子供だけでなく社会人も巻き込んだ生涯教育が必要だと感じています。

政策市場を通じ、もっと多くの人々が公の決定に対し、行動を起こし、関心を持つようになればよいと思った。

制度的なこともさることながら、政策形成に関わる官・政の人間の意識も非常に重要であると痛感した。

今、日本にとって最先端の話だと思った。でも、最先端の場では動き始めています。ある意味で民間が力を持ち始めているので、それを急成長させていきたい。

社会の変化に応じて政策テーマも刻々と変化する中、必要な政策をスピーディーに打つこと、必要の無くなった政策を終了することが大切だと思います。こうした中、柔軟な政策立案が出来る仕組みが必要だと思います。

自分の問題意識に会のコンセプトがあっていて良かった。是非また参加したいし、自分でも少しでも多くの人を巻き込んでいきたいと思う。

「情報」ベースでなくて、「人」ベースで、官民交流を進めていくことが大事だと思いました。

今回の「人材交流の場」こそ政策市場と呼びたい。

省庁にいる方たちとお話したのは初めてでしたが、今回そういう方が民が何を考えているかをこれほど知りたがっているのかということと、意識の面で「公（国）と民」とに明らかな境をもっているのかという二つに驚きました。

理不尽に思うことについて、そのまま流さず「何故？」と疑問に思うことが大事であると思いました。

官民の「人」の流動化については、双方の意識・共通認識を持つことが必要だと考えます。

自分自身が公務員である立場に甘えているところがあり、改革には中からの改革がとても重要だと思いました。

「政策市場」を実現するためには？の話が余り出来ていなかったもので、今後の自分の生活の中で考え、行動していきたいです。今日はきっかけをもらったと思っています。

結論を出すのは難しいし、なかなか見えない部分もあると思いますが、こうやって話し合える場があることが一歩前進かと思います。

個人の意識の問題が最も深刻であると思いますが、官側としてはもっと「アウトソーシング」することが大切だと思う。コスト・人材交流面でも一石二鳥のはずなので。

的確な指摘です。実行が難しいですが、みんなで頑張っていきましょう。

ハイレベルな内容でしたが、皆さんが分かりやすく話してくださったので、自分の意見を持つことが出来ました。

政策市場のみならず、「市場」というのは売り手・買い手双方が自発的な動機に基づいて形成されるものであるから、政治・行政が書いてとして必要であることのみならず、政策の売り手が強烈的な売込みを行うことが必要。米国で市場があるとすれば、それはホワイトハウスや政党が必要としている以上に、プレイヤーとなるシンクタンクからの売り込みもある。両者がなければうまくまとまらない。

市場を形成する政策テーマの選択が必要ではないか。どう考えても、国民全員が関与する市場がなじまない政策分野もあるのでは？ただ、理想形であることは認めます。

現状も政策市場の方向に向かっているのではないか？現在の動きも知りたかった。

コンセプトや方向性としてとてもよいと思う。後はその実現に向けてどのように具体的な行動が出来るかを考えたいと思う。

より多様な政策のオプションを求めるという意味でも有益だが、前提として官・政の民に対する信頼、民の官・政に対する信頼が必要。しかし、現状のマスコミ等の論調や政・官の民に

対する意識、民の官・政に対する意識は、むしろ不信感を増長させる方向に向いているのでは、大きな課題で方策を見つけていく必要がある。

提案はいくつか出たと思います。それを受けて、Crossover でどう応えていくかを示していきましょう。進むことが大切です。

政策市場という概念は何だ？というところから始まって本当に面白かったです。政策市場という概念が本当は私達一般市民の側から出るべきことだと思っています。一プレイヤーであるために、自分がどうするべきか考えていきます。

政策市場の創設には、情報の吸い上げ、精査、分析が必要になると思います。そのためにはある程度権力を持ったシンクタンクが必要になると思います。個人的には是非ブログを作ろうと思います。

行政の方と接して学生の時のことを思い出した。公という壮大なテーマの議論は日々の仕事に追われている中で新鮮でした。

知見の無い分野（国際協力・NGO）が、自分が良く理解している分野についてよりも柔軟なアイデアが出てくると感じた。無知に起因する無責任な発言に傾きそうになったとき、経験に基づく知識を有する人に修正してもらえるとというやりとりに意義を感じた。

問題意識を持った人たちが集まって、議論を重ねるのは大変有意義だと思います。「若い」パワーを是非具体的な活動に結びつけていってほしいと思います。（年齢を重ねると「守るもの」が増え、保守的になっていく危険性があると思うので）

ディスカッションリーダーの意見や力量によって、大きく議論の質が変わると思う。政策市場には基本的に賛成だが新しいものが生まれそうということは感じなかった。

民を意識することが如何に大切であることを再確認させられた。

官民協働策はだれでもすすめるべきだと考えるだろうが、その具体的な方法となると難しいと思う。様々な人々と会えてその意見を聞いたの非常に有意義だった。

個人的には深く考えたことの無いテーマだったので、自分の考えの幅が広がったことが非常に有意義だった。

非常に興味深いテーマでした。今後、民から政策がバンバン出てくるようになれば良いと思いますし、楽しみです。

大変面白いアイデアだと思う。もっと多くの人に知ってもらいたい。

概論としては非常に良かった。参加者が話しやすいように、少し具体的な問題提起をしてもよいのではないかと、思う。

提言としては理想的ですね。あとはこの市場を構築するまでの問題点をどう解決していくか、そのための政策手法をまず提示してゆくのがこの「政策市場」の最初の仕事でしょう。

現在、省庁に民間から入った方がともに政策を作っていると思うが、理想的なのは一般市民を取り込むことだと思う。民間の人も、学者だったり、大企業の会長であったり、いわゆる市民の意見を組んでくれるとは思えないから。

行政が今後どうして行くべきかの課題を投げかけて頂き、日々の問題意識をぶつけることができました。最適な解決方法の意見が出ましたが、コストの問題が発生するという別の問題を考えないといけないことからとても勉強になりました。

「政策市場」について、あまり考えたことがなかったのですが、まず一国民としてやるべきことがあるのではないかと感じました。

人財の確保、特に回転ドアの観点について、もう少し考えてみたいと思った。

市場形成は民意を反映させるための一つの方法論でしかなく、本当の問題を理解し、その解決策を探るというプロセスを一から考えていきたいなと思いました。

問題提起は非常に良かったと思いました。これから実現していくために何をしていかないといけないのかを考え、それを実践していかないと強く思いました。また、思ったらすぐ実行！私ができることから始めてみたいと思います。

政策を市場化できない、あるいはやりやすい、やりにくいということが各分野で発生すると思います。その優先順位を考えていけば実現可能な考えであると思います。

官以外のプレイヤーがどう生成されていくのか。またその市場メカニズムは？というところが問題になると思います。

個として関わっていくためには、自分の問題意識と仕事の直結が大きなポイントだと思いました。

官民も政策市場の形成には準備が不十分だが、今回のような場が重要になっていくと思う。

今後必要なことと思いますが、政策は、住民・市民・個人の利益の向上につながるという明確な目的が前面に立つときのみなされるということ念頭に市場として広げていけばと思います。

政策案の内容形成の問題と、実現過程の問題（具体的には国会を通じて法案になることなど）を分けて考える必要があると思う。私の問題意識としては、「国権の最高機関＝国会」の意味をもう一度問い直す必要があるのではないかと感じている。近代以降これまでずっと続いてきた国家システムの再検討が求められているのではないか。

コミュニケーションのあり方、方策について考えていかなければならないと思いました。

議論について、目的・内容はとても興味深かったですが、それをどう実現するかをもっと議論したかったと思います。

方向性については共感しますし、大賛成です。この市場が成立するには？成立した際に予想される問題は？といった内容をもっと議論したいです。

一般の人が政策に直接参加できる仕組みが必要。

政策については共有と役割分担が必要。しかし、これはますます複雑化している。まずはステークホルダーを選定した対話が必要と考える。

プレイヤーとしての意識を持つ人が沢山おり、それぞれの意見を戦わせれば、様々なものが生まれてくると感じた。

金銭を媒介とした民間プロ製作集団の育成が必要だと思います。

議論するのは必要だが、一度我々の所属の垣根を超えて、実際に政策立案してみても良いのではないか。

組織は大きくなればなるほど、高い能力をつけていく一方、自由度が奪われていく。従ってベンチャーのアイデアを大企業が買って製品開発をしていくように、政府も民間からのアイデアを公募し、国民に選んでもらい、それを形にしていく役割を担っていければ、と思う。

政策市場を実現するにはやはり政権交代しかない。そうすればまた色々可能性が広がるのではないか。

政策市場のあり方について、より思考し、良い結果に結びつけていくアクションが重要であると思った。

Q6 今後、Crossover に期待することがあったら教えてください。

…主なご意見・ご要望

有意義な(官民)交流の場として今後も継続してもらいたい。(32名)

開催回数を増やしてほしい(年に2~3回程度)(12名)

テーブルごとの分科会をつき1回ペースで実施してもらいたい。(3名)

ただ議論するだけでなく、具体的なアウトプットを出すべき。(11名)

HP・MLの積極的活用。(4名)

フィールドワークの実施。(2名)

より多世代・多業態からの参加。(3名)